



今回の児童・生徒のコーナーは、東陽小学校の児童の作品を紹介します。

(敬称略)



6年 越川真由美

修学旅行

山下公園、小田原城、バスにゆられながら私達は楽しくてしかたがありませんでした。何しろ六年に一度の修学旅行。みんながうかれるのは、だれでもわかります。箱根の山は険しく、バスに乗っている時は耳がおかしいという人もでてきました。どれもみんな、よい思い出でしたが、私が一番に残ったのはやっぱり富士山でした。

富士山は、テレビや写真などでしか見たことのなかった私は一度富士山を目の前で見たいと思っていました。バスの中で富士山を見つけた私達は、

「すごい。」
「きれいだね。」

これしか言葉が出ませんでした。写真で見る富士山とは、また一味ちがいがいい、私は、「さすが日本一の山。」

と思いました。くもっていたら見えないところでしたが、よく晴れていたの富士山は雲の上にひよっこりと頭を出していました。ポテトチップスのふくろはだんだんふくらんで富士五合目まで来た時には、もうパンパンになっていました。

昨日は雪が降ったよう道路には雪が残っていました。富士山と言ったら頭が白くすその方は青いというイメージがありますが、全くそんなことはありません。白い雪は頭の方だけでなくまだらになっていて、青く見えるところは全部こい緑色などの木でした。

私のように思う人は少ないと思います。が、次に心に残ったのは箱根の山でした。箱根八里を歌いながら、険しい山を上って行きました。バスからおりたらもつとよかったと思いますが、山の上から見おろした風景は箱根でしか見られない特別な物で、はっきり言って私はそれも写真に残しておきたかったです。富士山は、とてもきれいですが、箱根の険しい山もすてきだと思います。

小涌園が良かったと言う人、鎌倉の大仏が良かったという人、いろいろいますが、私は富士山がとてもよかったです。家に帰ってから私は、富士山がとてもよく見えたこと、小涌園の夜など、修学旅行でのたくさんさんの思い出を家族みんなに話しました。

「楽しかった？。お母さんも、もう一度行きたいねえ。」

「ぼくも行きたかった。」

「だいじょうぶだよ。六年生になったらみんな行けるから。」

みんな私の話を喜んで聞いてくれました。私はこの修学旅行を新しい思い出として、いつまでも心の中にしまっておこうと思います。



6年 竹内 祐子

楽しかった修学旅行

五月八日、九日と私達六年生は、箱根・鎌倉・富士方面へ修学修行に行きました。心うきうきのバスの中も、朝が早かったのでねむくなってきました。

千葉東金道路、湾岸道路、神奈川一号、横浜山下公園、鎌倉八幡宮、大仏、西湘バイパス、小田原城、箱根新道、関所資料館、関所跡、遊覧船で湖尻まで行き、大涌谷のロープウェイに乗って、早雲山に行き、小涌園に泊まるという日程でした。

一日目の一番の思い出は、大涌谷と早雲山を結ぶロープウェイに乗ったことです。高い所の好きな私は、乗る前からうきうきです。ロープウェイから見ると景色は、絵にかいたようにすてきでした。白い水じょう気を上る大涌谷。つんと鼻をつくにおい。四方の山々がとてもきれいに見えました。高さは五十メートルぐらいいったようでした。

一組のKちゃんは、

「こわいよ。」

と、ぼうにしがみついていた。私はあまりこわくありませんでした。山と山の間が深い谷のようになっていきます。下を見るとすいこまれそうな気がします。山の天候はくもりで、ちょっとはだ寒かったです。ロープウェイに乗ると、いっそう寒くなりました。

楽しいロープウェイをおりると、みんながまっていた。ここから、小涌園に向かいます。小涌園では、楽しい夜が待っています。みんな楽しい食事、おフロ、買い物、とても楽しかったです。

五月九日は、富士山です。

富士山は、高さ三千七百七十六メートルで日本一高い山です。すそ野は、すーっとしていてとてもきれいです。近くには、一度迷ったら、二度と出られないという「青木が原樹海」があります。この樹海では、富士山から流れ出た、よう岩の力で方位じしんが使えないそうです。

富士一合目の高さは、千四百五メートルでした。道路のわきには、もみの木と白かばの木が立ち並んでいました。二合目の高さは、千五百九十メートルでした。三合目は、千七百八十六メートルでした。バスの窓からは、南アルプスと、明石山脈の下岳(約三千九百九十メートル)が見えました。いくつもの山々が連なっていました。ここは、日本の屋根とも言われています。四合目辺りで耳がキーンとしました。高さは、二千四十五メートルだそうです。五合目の高さは二千三百五メートルです。おやつのカラムーチョのふくろを見るとふくろいっぱい